

## 新潟県における暖温帯植物の短報（6）

朱 雁・石沢 進

### 阿賀野川流域における暖温帯植物の分布と生態

阿賀野川流域には、暖温帯の植物数種が内陸まで分布していることが、これまでの分布調査で明らかになってきている。ここでは阿賀野川流域におけるユキツバキと暖温帯の植物との分布関係について取り上げてみたい。

#### 1 ユキツバキとアカガシの群落

アカガシは県内の海岸や平野部に接する山地に自生している(図1)。阿賀野川流域では阿賀町三川地区に分布し(図2)、県内では最も内陸に生育している。

ユキツバキとアカガシとの分布については、すでにその実態を報告した(朱 2003, 朱 2006)。阿賀野川下流部に位置する三川地区小石取の山地でアカガシの古木とユキツバキが共存している。新潟県内のアカガシの生育地では、ユキツバキとヤブツバキの中間型のユキバツバキと共存することはあるが、純粋のユキツバキと共存するところは少ない。そのことから小石取の生育地は、生態学上貴重な所在地である[写真1]。

図1 新潟県におけるアカガシの分布 (36頁)

図2 阿賀野川流域におけるアカガシとフユイチゴの分布 (36頁)

#### 2 ユキツバキとフユイチゴの群落

新潟県におけるフユイチゴの分布は、アカガシと同様に海岸と平野部に接する山地に分布している(図3)。

フユイチゴは地面を這って広がる常緑性の種であるが、阿賀町内にも生育している。町内のフユイチゴは、三川地区：熊渡 50m・細越 90m・五十島 70m・黒岩 50m・白崎 70m・新谷長走川右岸 180m、津川地区：大牧本尊岩 250m・麒麟山 80m・同<松坂峠道>90m、鹿瀬地区：湯之浦麒麟山 80m・同<松坂峠道>90m・角神<水沢道>80mのように広域に点在している(関 1983)。また、上川地区：日光寺の旭滝道にも分布しているという斎藤久夫氏の情報により、同氏の案内で現地調査を行い確認した。以上のように阿賀町では、4地区それぞれ本種が分布している(図2)。ユキツバキとフユイチゴの分布上の関係は、生育地で共存したり、あるいは住み分けたりしている。例えば、三川地区の林道黒岩一大牧線沿いと上川地区の旭滝付近の生育地では、ユキツバキと共存しているが、鹿瀬地区角神一水沢線の生育地では、近接してユキツバキが生えていない。

なお、県内における内陸の分布は、魚沼市小出で確認し、ここではフユイチゴが、ユキツバキと接しているか、または下層にまで生育している(朱・石沢 2009)。

図3 新潟県におけるフユイチゴの分布 (36頁)

ユキツバキ・フユイチゴ群落 (共存する植生)

① (植生調査3×10m) [写真2]

新潟：東蒲原郡阿賀町三川<黒岩一大牧線>230 m

Sept. 21, 2009 津川 5639-43-41

N37° 42.285' ; E139° 23.623'

高木層にアカガシ2・3, ミズナラ(辺縁)1・1.

亜高木層にケブク1・1, ウミズミ1・1, ムラサキギク1・1, アカガシ+

低木層にユキツバキ1・2, モシバ1・2, ミズナラ1・1, カスミ草1・1,

ハイマツ1・1, ツツメトキ1・1, ケブク1・1, クリ1・1, ミズキ1・1,

ハイカキ+, クリ+, オハカモシ+, マダヒ+, エゾアジサイ+, クマイナ,

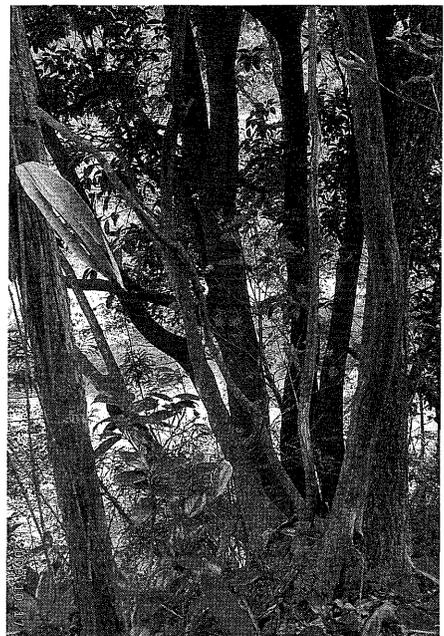


写真1 ユキツバキ・アカガシ群落  
(三川小石取)



写真2 ユキツバキ・フユイチゴ群落 (払川)

アカカシラ+, ヒメアキ+, ムササキシキブ+, クサギ+.

草本層にフイチゴ 4・5, ミヤマイチシダ 2・3, ツルアジサイ 2・3, エキツハキ 1・2, エゾアジサイ 1・2, ハイヌツゲ 1・2, クマヤナキ 1・2, ミヤマカンスゲ 1・2, シュウモンシダ 1・1, ミズナラ 1・1, マタタビ 1・1, ノボドウ 1・1, ケブシ 1・1, ヤイトハナ 1・1, ちぢみササ 1・1, ミツシダ+, シカシラ+, ハイヌツゲ+, コナラ+, ヒメコウゾ+, ケアブラチャン+, ミツバアケビ+, イカガミ+, モミジイチゴ+, クマイチゴ+, アカカシラ+, サンショウ+, サソカヅル+, ヒメアキ+, タラノキ+, エコノキ+, クサギ+, ムササキシキブ+, タニウツギ+, オトコエシ+, ヒヨドリバナ+, ユクサ+, ススキ+, オクノカンスゲ+, その他、範囲外にクイチゴ+があり、イキリ(単木)は近くの道路の反対側にある。

ユキツバキ・フイチゴ群落 (共存する植生)

② (植生調査10×10m) [写真3]

新潟: 東蒲原郡阿賀町(上川) 弘川 <旭滝道>

Sept. 28, 2009 御神楽岳 5639-33-74

高木層にスギ 1・2.

亜高木層にツノハシミ+.

低木層にエキツハキ 3・4, ムササキシキブ 1, クリ, ヤマグル, ケアブラチャン, サルナシ, ウラミズサクラ, ヒメアキ, ヤマホウシ, タニウツギ, オオカメノキ.

草本層にエキツハキ 3・4, フイチゴ 3・4, ミヤマカンスゲ 2・3, ミツシダ 1・2, ツノハシミ 1, ハイヌツゲ 1, ケアブラチャン 1, マルハフイチゴ 1, モミジイチゴ 1, ハクウンボク 1, タイリンヤマハッカ 1, キハナアキギリ 1, ヒロハスゲ 1, ミヤマイチシダ, ナライシダ, ヤラシダ, サトメシダ, ヤマイヌワレビ, リョウモンシダ, シュウモンシダ, シカシラ, オノヅルミ, クリ, アカリ, 赤ノキ, オオハクモシ, ミツバアケビ, トリガタハンショウヅル, コシノカンアオイ, サルナシ, イカガミ, ツルアジサイ, トリアシショウマ, クマイチゴ, フジ, ヤマウルシ, ウリハダカエデ, ハイヌツゲ, クマヤナキ, ナカハシスミレ, ヒメアキ, コシアブラ, リョウブ, ヤブコウジ, タニウツギ, ツルリントウ, ツルニシシソ, アキノキノソウ, キハトコロ, チマキササ, ちぢみササ, アオスゲ.

なお、エキツハキとフイチゴが共存する範囲は100×100mあり、高木層にはスギ、材ノキ、キハダ、亜高木層にはヤマグル、ケアブラチャンなどがあり、また、ワレビ、ハリガネワレビ、カラクサイワレビ、マツササ、スミレサイシソ、モミジイチゴ、マルハフイチゴ、ヌスビトハギ、エゾユズリハ、エゾツリバナ、アオハダ、ヒメチ、タノツメ、ツルアリトオシ、ヤブコウジ、クサギ、アオハスゲ、オトコロ、マムシササ、※サルメンエビネ、エビネなどがある。



写真3 ユキツバキ・フイチゴ群落  
(上川) 弘川 <旭滝道>

### 3 ユキツバキとソヨゴの群落

ソヨゴの新潟県における分布は、海岸および平野部に接する山地であり、村上市山北で北限になっている(図4)。阿賀野川流域では、阿賀町三川、鹿瀬、津川、上川の各地区に生育している(図5)。

ユキツバキとソヨゴとは、三川地区吉津での共存を報告している(朱 2003)。また、2009年には、津川地区の野村でユキツバキとソヨゴが共存していることを確認した。さらに、上川地区の袴腰山の山麓でソヨゴの分布を確認している(池上・石沢 1990)。ソヨゴはアカガシよりも阿賀町の阿賀野川流域に内陸まで生えており、ユキツバキと共存している。

図4 新潟県におけるソヨゴの分布 (37頁)

図5 阿賀野川流域におけるソヨゴ・ヤマグルマの分布 (37頁)

ユキツバキ・ソヨゴ群落 (共存する植生) (植生調査3×3m)

新潟: 東蒲原郡阿賀町津川野村 130m

Nov. 7, 2009 御神楽岳 5639-33-89

高木層にミズナラ 1・2, コナラ 1・2, スギ +1.

亜高木層にソヨゴ(高3~4m) 1・2, ハウチワカエデ(高2m) +1, コマユミ+.

低木層にエキツハキ 1・2, エゾユズリハ 1・2, ハイヌツゲ, ソヨゴ, チマキササ.

草本層にソヨゴ 2・3, エキツハキ 1・2, エゾユズリハ 1・2, ツルアリトオシ 1・2, クリ, ミズナラ, ツクハネ, コシノカンアオイ, ヤマウルシ, ハイヌツゲ, コマユミ, ヒメアキ, リョウブ, ヤブコウジ(実), ツルリントウ, オオカメノキ, チョウユリ, チマキササ, オクノカンスゲ.

### 4 ユキツバキとイイギリの群落

上記の暖温帯の植物は、いずれも常緑性であるが、暖温帯に生える落葉性のイイギリが阿賀町に分布している。新潟県における本種の分布図(図7)によると、主に海岸沿いに近接している山地に分布し、阿賀野川沿いでは例外的に平野部に接する五泉地区の分布が記録されている(平 1989)。その後、本種は阿賀野川沿いの内陸部、すなわち三川地区と津川地区で分布を確認した。具体的には三川の黒岩から津川の大牧を結ぶ林道沿いにイイギリが点在し、ところによってはイイギリが群生している(朱・石沢 2006)。阿賀町では、イイギリが県内で最も内陸に分布している地域であり、ここではしばしばユキツバキと共存している(図 8)。

図7 新潟県におけるイイギリの分布 (38頁)

図8 阿賀野川流域におけるイイギリ・カラスザンショウの分布 (38頁)

ユキツバキ・イイギリ群落 (共存する植生) (植生調査5×5m)

[写真4]

新潟：東蒲原郡阿賀町津川<黒岩一大牧線>250 m

Sept. 21, 2009 津川 5639-43-42

N37° 42.367' ; E139° 24.548'

高木層にイイギリ1・2, コナラ1・2. 亜高木層ケブク1・2, アカカシ1・2.

低木層にユキツバキ2・3, モミジ1・2, コナラ1・1, ケブク1・1,

ムラサキキブ1・1, ウミズサクラ, クイチゴ, サンショウ, タウツギ.

草本層にユキツバキ2・3, ミヤマカンガ1・2, ミゾシダ, サカゲイテ, リョウモンダ,

ジュウモンシダ, スギナ, ハイイカリヤ, サシハ, ヒメコウリ, ミズヒキ,

ケブク, ホトツル, イワラミ, クイチゴ, フジ, アカカシ,

ヤマモミジ, クヤナギ, アオイスミレ, ナガバシスミレ, オオトリノオ, ヤノヒ, チヂミササ.

その他、道路対面にイイギリ単木(高木)がある。



写真4 ユキツバキ・イイギリ群落 (津川黒岩-大牧林道)

### 5 ユキツバキとカラスザンショウ群落

イイギリと同じく暖温帯に生える落葉性のカラスザンショウも県内に分布している(図9)。阿賀野川沿いではカラスザンショウもイイギリとほぼ同じ地域に生育してユキツバキと共存している(図8)。カラスザンショウの生育地の植生は次のようである。

図9 新潟県におけるカラスザンショウの分布 (38頁)

ユキツバキ・カラスザンショウ群落 (共存する植生) (植生調査10×10m)

新潟：東蒲原郡阿賀町三川<黒岩一大牧線>250 m

Sept. 21, 2009 津川 5639-43-41

N37° 42.561' ; E139° 23.780'

高木層にカラスザンショウ2・2, スギ1・2, ヌルデ1・1.

亜高木層にカラスザンショウ1・2, スギ1・2, ヌルデ1・2, ケブク+, フジ+, アカカシ+.

低木層にユキツバキ3・4, ハイイカリヤ1・2, チャボガヤ1・2, ケブク1・2, ヒメアキ1・2, クリ1・1, ケブク1・1, ヒメアキ1・1, ムラサキキブ1・1,

オハクモシ+, サンショウ+, モミジ1・1+, クイチゴ+, フジ+, イイギリ+, エコノキ+, クサギ+, ミヤマカマズミ+, タウツギ+.

草本層にユキツバキ4・5, ミヤマカンガ2・3, オクナカサガ1・2, ミゾシダ, チャボガヤ, クリ, ヤマグワ, ケブク, オハクモシ, ミツバアケビ, オトギリソウ,

イワラミ, ウミズサクラ, フジ, サンショウ, ヤマモミジ, ハイイカリヤ, クヤナギ, イイギリ, アオイスミレ, ナガバシスミレ, ヒメアキ, ヤブコウジ, コナヒ,

エコノキ, ムラサキキブ, カマズミ, ミヤマカマズミ, タウツギ, ヒトトリノオ, ヤマカサ, サトリイハラ, ヤノヒ, ヒロバサガ, ナツヒネ.

### 6 ヤマグルマとユキツバキの住み分け

同じ暖温帯の植物でも常緑性のヤマグルマは、海岸沿いの山地を北上する上記の植物と異なり、内陸の山岳を北上して新潟県の胎内市鳥坂山で北限になっている(図6)。そのヤマグルマが阿賀町内に生えているが、ユキツバキの分布域と接するものの共存していない(図5)。つまり、ヤマグルマはユキツバキとは住み分けているとみられる。

図6 新潟県におけるヤマグルマの分布(37頁), 図5 阿賀野川流域におけるヤマグルマの分布(37頁)

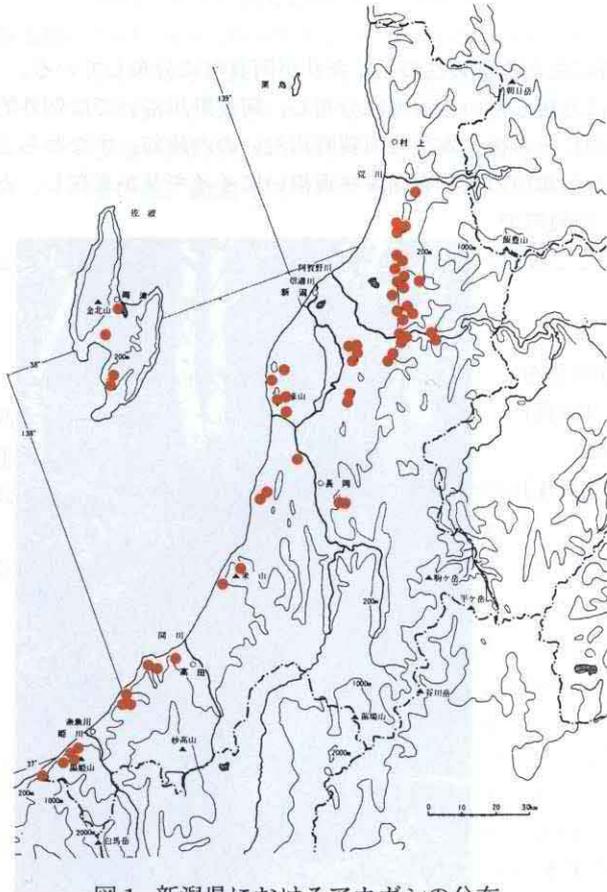


図1 新潟県におけるアカガシの分布

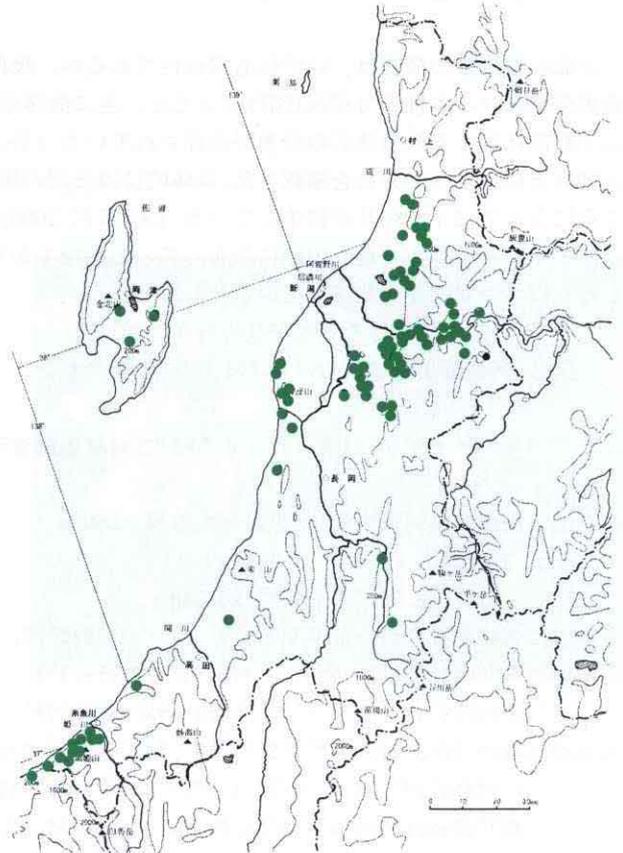


図3 新潟県におけるフユイチゴの分布

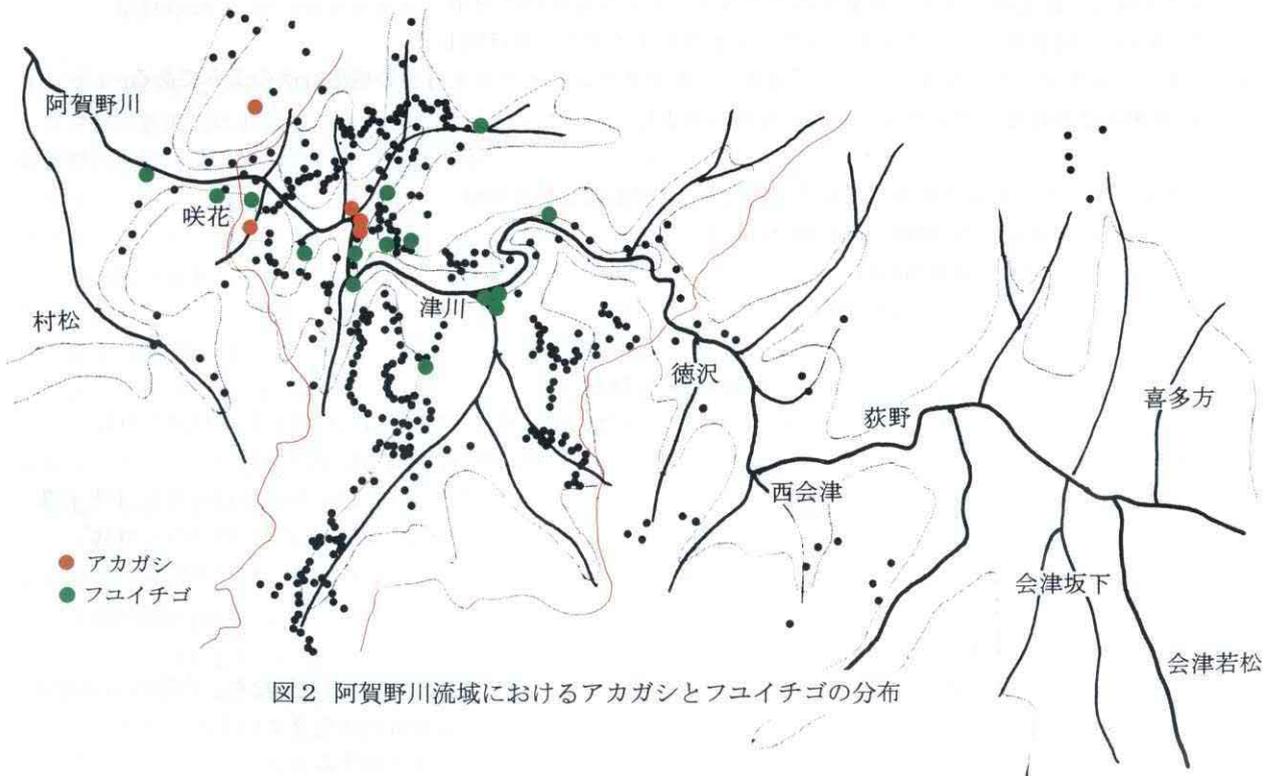


図2 阿賀野川流域におけるアカガシとフユイチゴの分布

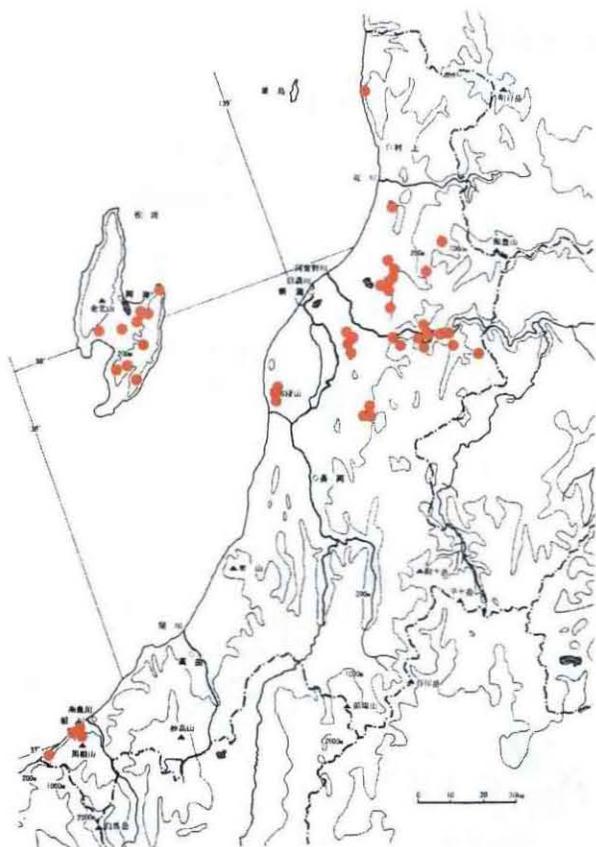


図4 新潟県におけるソヨゴの分布



図6 新潟県におけるヤマグルマの分布

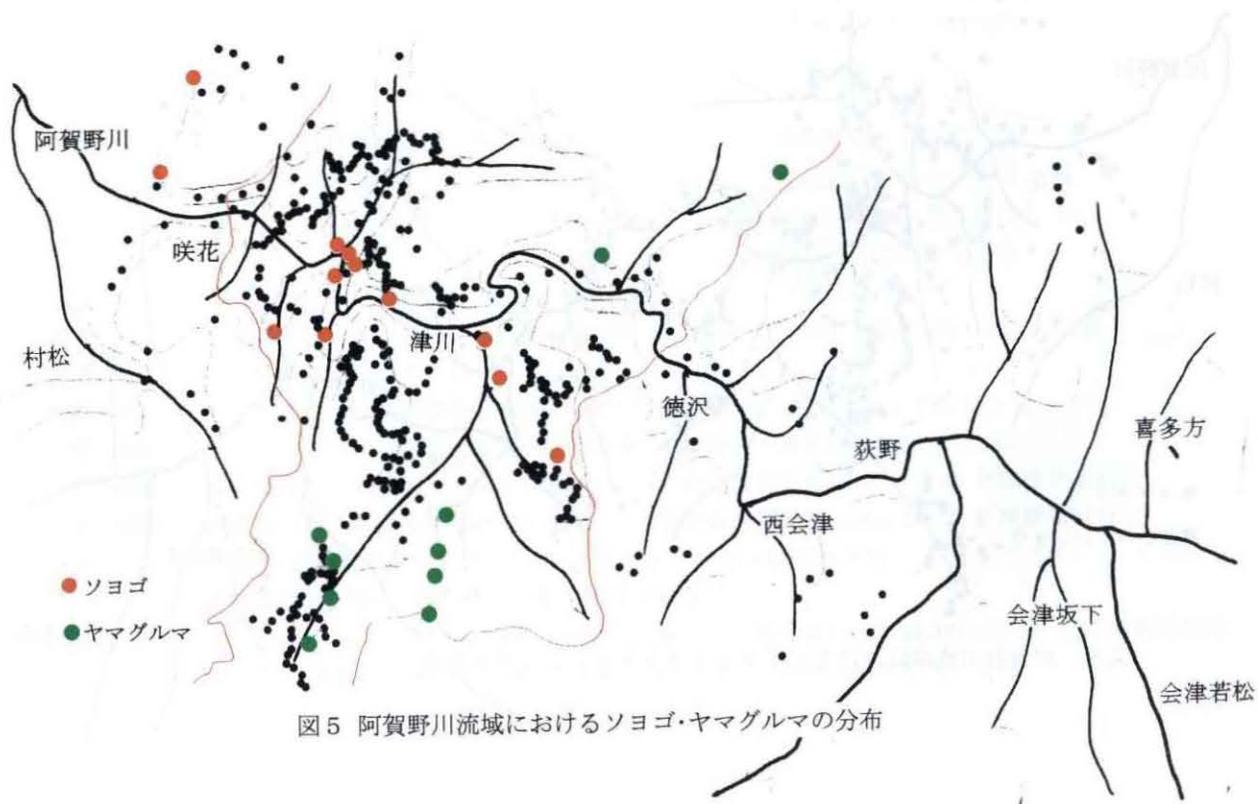


図5 阿賀野川流域におけるソヨゴ・ヤマグルマの分布



図7 新潟県におけるイイギリの分布

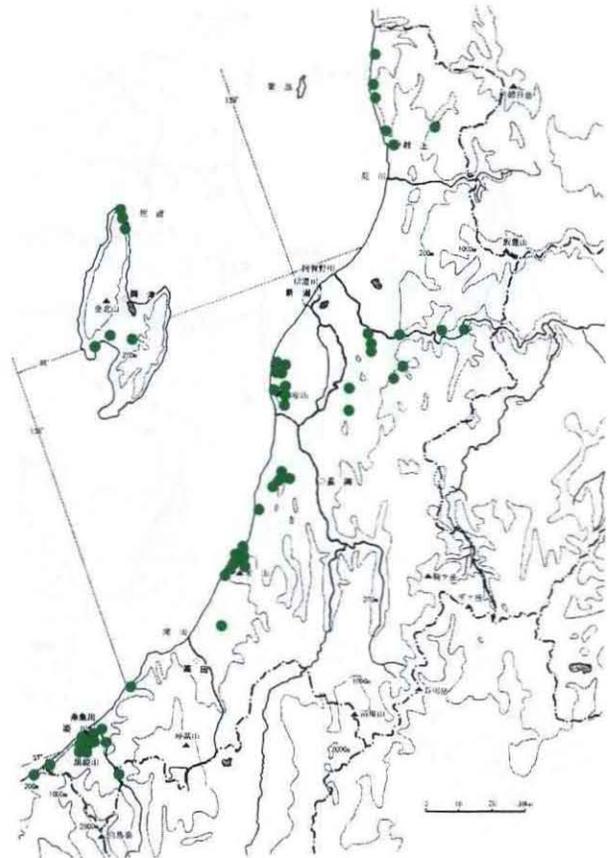


図9 新潟県におけるカラスザンショウの分布

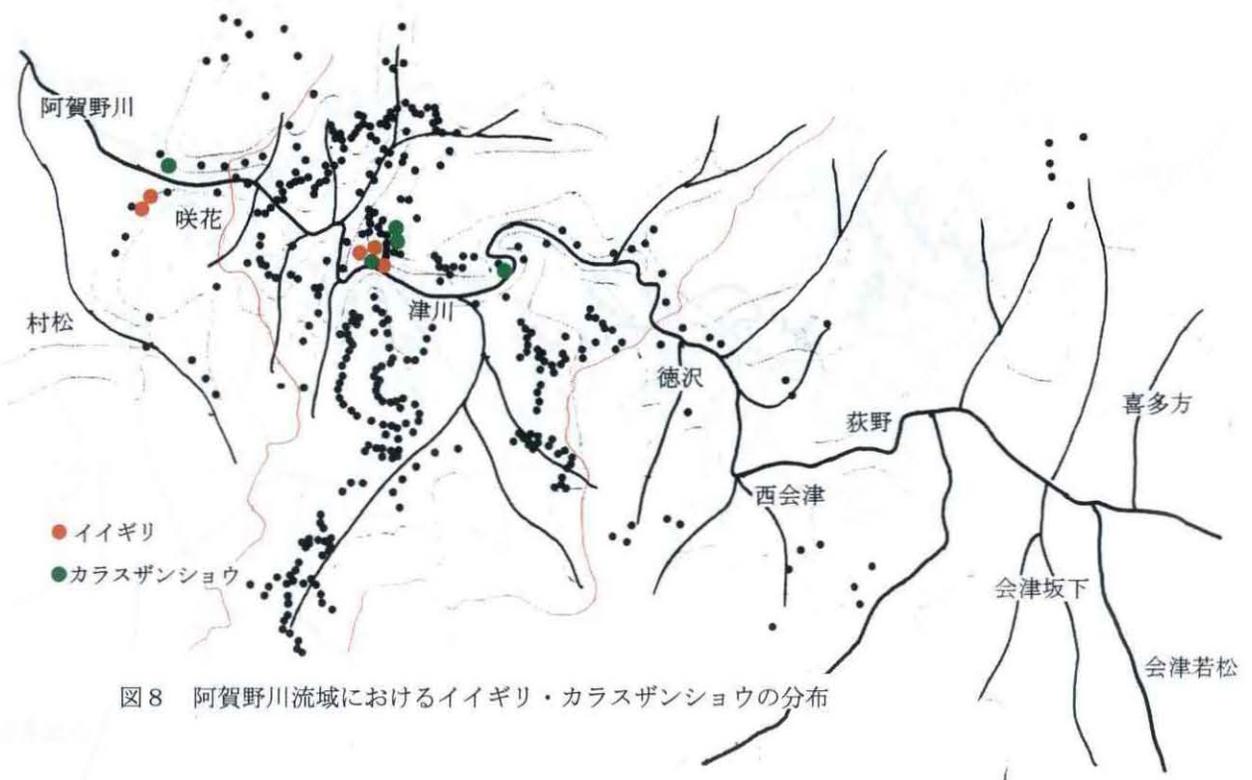


図8 阿賀野川流域におけるイイギリ・カラスザンショウの分布

## 7 ユキツバキ・モミの群落

モミは主として太平洋が分布している太平洋要素の植物である。モミ林の下層にユキツバキが分布していることは、津川に隣接する福島県西会津町でも記録されている(斎藤 1996)。ここでのユキツバキ被度は、階級2であり、広く林内に広がっていない。

新潟県では、津川地区の野村の山中にモミが生えており、県内唯一の産地である。ここでもモミ林の下にユキツバキが僅かに生育しているだけである。

## ユキツバキ・モミ群落 (共存する植生) ①(植生調査1×1m)

[写真5]

新潟：東蒲原郡阿賀町津川野村 130m

Nov. 7, 2009 御神楽岳 5639-33-89

N37° 39.139' E139° 29.757'

生育環境では上層部にコナラ(高木)・マルバマンサク(亜高木)・ウリハカエデ(低木)・ヤマカズミ(亜高木)があり、その下にモミの実生(高60cm・10cm)とユキツバキが生えている。

低木層にエゾユズリハ+1, オオハコモシ+.

草本層にユキツバキ1・2, モミ1, ヤマイチシダ, シガシラ, エゾユズリハ, ハイヌツゲ, ヤブコウジ, ツルアリトオシ, オクノカンサゲ.

周辺にはスギ(高木), ユキツバキ(低木), ウラジロイチヤク, リョウブ, ツルキミなどがある。



写真5 ユキツバキ・モミ群落  
(モミ実生と共存) (津川野村)

## ユキツバキ・モミ群落 (共存する植生) ②(植生調査5×5m)

新潟：東蒲原郡阿賀町津川野村 (旧田圃) 130m

Nov. 7, 2009 御神楽岳 5639-33-89

N37° 39.165' E139° 29.626'

ユキツバキがモミの根元から3m離れたところに生育する。

高木層にモミ4・5, コシアブラ. 低木層にチャボガヤ1・2.

草本層にチマキササ2・3, ユキツバキ1・2, ミツシダ1, シガシラ1, ゼンマイ1, チャボガヤ1・1, キバナイカリソウ1, ショウジョウバカマ1, タカネウツ1, ベニシダ, ハイヌツゲ, スギ(実生), ケアブラチャン, トリガタンショウツル, トリアシショウマ, イカダミ, フジ, エゾユズリハ, アワバキ, ハイヌツゲ, テリハチツボスミレ, ヒメアザミ, ホツツジ, アオダモ, ツルアリトオシ, ムラサキシキブ, テリハツツナミソウ, オクノカンサゲ, ヤマカンサゲ.

## 参考文献

- 浅見 賢(1980) アカガシ 新潟県植物分布図集 第1集: 25-27. 植物同好じねんじよ会  
 花井清晴(1981) ソヨゴ 新潟県植物分布図集 第2集: 233-236. 植物同好じねんじよ会  
 池上義信・石沢 進(1990) 分布域の比較:ユキツバキとソヨゴ 新潟県植物分布図集 第11集:20, 85. 植物同好じねんじよ会  
 石沢 進(1996) 「ユキツバキを指標とした植物分布」 学会出版センター  
 川端義一(1984) カラスザンショウ 新潟県植物分布図集 第5集: 177-180. 植物同好じねんじよ会  
 斎藤 慧(1996) 福島県西会津町のモミ林. フロラ福島 No.14: 25-26.  
 関 繁雄(1983) フユイチゴ 新潟県植物分布図集 第4集: 193-196. 植物同好じねんじよ会  
 朱 雁(2000) ヤマグルマ 新潟県植物分布図集 第20集: 29-32. 植物同好じねんじよ会  
 朱 雁(2003) 新潟県における暖温帯常緑樹の短報(1). 新津資料室年報 2002:19-22. 新津植物資料室  
 朱 雁(2006) 新潟県における暖温帯常緑樹の短報(4). 新津資料室年報 2005:22-25. 新津植物資料室  
 朱 雁・石沢 進(2006) 新潟県植物分布資料(5) 東蒲原郡の分布上特徴的な種: ミズメ(アズサ)・イイギリ. 新津資料室年報 2005:12-15. 新津植物資料室  
 朱 雁・石沢 進(2009) 新潟県における暖温帯常緑樹の短報(5). 新津資料室年報2008:36-40. 新津植物資料室  
 平 慎三(1989) イイギリ 新潟県植物分布図集 第10集: 261-262. 植物同好じねんじよ会